

「ようい、ドン!スクール」になるには

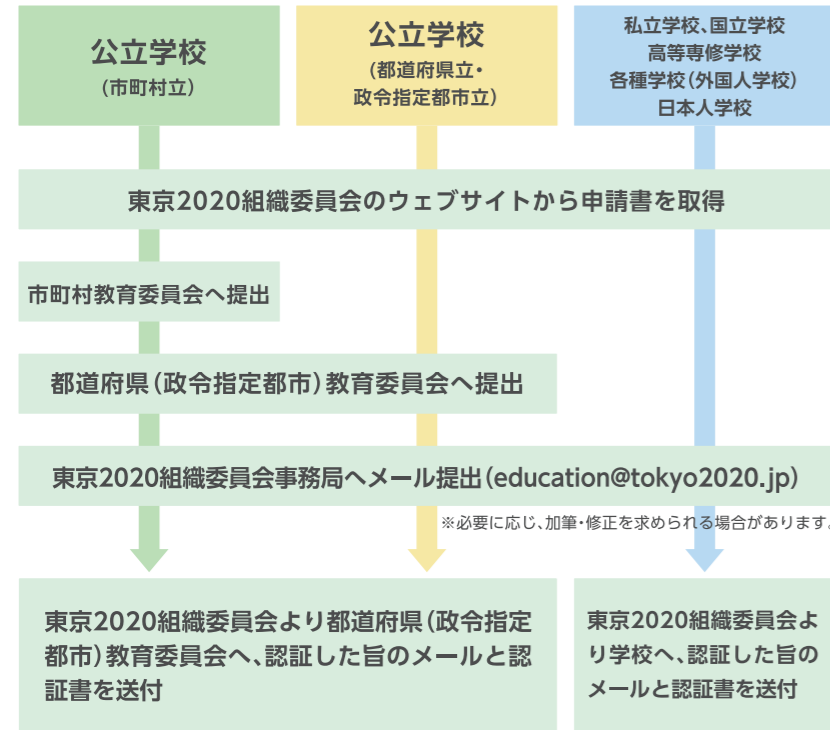
対象となる学校※1

- 日本全国に所在する下記の学校が実施する事業
幼稚園※2、幼保連携型認定こども園※2、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校、専修学校高等課程(高等専修学校)※2、各種学校として認可を受けた外国人学校(留学生を対象とする日本語学校を除く)※2
- 日本国外に所在する日本人学校(私立在外教育施設を含む)が実施する事業

※1 国立・公立・私立は問いません。私立の小・中・高等学校については、原則、学校法人が設置するものに限ることとします。

※2 幼稚園、幼保連携型認定こども園、専修学校高等課程(高等専修学校)及び外国人学校については、学校法人以外が設置するものも含むこととします。

申請の流れ



認証の基準

- オリンピックの価値・パラリンピックの価値を学習していること
- 東京2020組織委員会が作成又は認定する学習教材に基づきオリンピック・パラリンピックやスポーツの価値を学習できる機会が、学校の年間指導計画に盛り込まれていること
- 学校全体で取組を行い、様々な教科や教育活動を通して総合的に学習を行っていること
- 東京2020組織委員会が学校を対象として展開する事業に参加していること

詳細は「東京2020参画プログラムガイドライン - 東京2020教育プログラム 学校編 -」を以下のウェブサイトからご参照ください。

<https://education.tokyo2020.org/jp/teachers/authorization/>

「ようい、ドン!スクール」になると

- オリジナルの認証書を授与いたします
- 東京2020教育プログラムのロゴマークや名称を活用いただけます※
- 東京2020マスコットイラストを、学校で作成する学習教材や学級通信・学校だより等に活用いただけます※
- 東京2020主催教育プログラムや学校連携観戦プログラムなど大会関連事業への参画機会を提供いたします
- 東京2020パートナー企業等の実施する教育プログラムの情報提供をいたします
- 「ようい、ドン!スクール」向けメールマガジンにて東京2020大会に関する最新情報をお届けします

※ ロゴマーク、名称及びマスコットの活用に当たっては、事前申請が必要となる場合があります。

お問い合わせ

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
参画プログラム事務局
電話:0570-00-6620(有料)
※受付時間 平日9時~17時、土日祝日、年末年始を除く
メールアドレス:education@tokyo2020.jp

ウェブサイトのご案内

東京2020教育プログラム特設サイト
「TOKYO 2020 for KIDS」
<https://education.tokyo2020.org/jp/>



全国約17,000校が参加中!※

東京2020オリンピック・パラリンピック教育実施校

「ようい、ドン!スクール」

募集しています!

「ようい、ドン!」とは?

オリンピック・パラリンピックは、チャレンジ精神やフェア・プレイ精神などのスポーツの価値を理解したり、障がいのある方や海外の文化などの多様性に関する理解を深めるきっかけになるなど、将来、国際社会や地域社会で活動していくための貴重な機会となります。東京2020組織委員会は、東京2020大会が子供たちにとってかけがえのない財産となるように、「東京2020教育プログラム『ようい、ドン!』」を展開し、オリンピック・パラリンピック教育を実施している学校を、「ようい、ドン!スクール」として認証しています。



※2018年11月1日時点で、16,748校を認証済み

スポーツだけじゃない!

オリンピック・パラリンピック教育の7つの分野

東京2020教育プログラム「ようい、ドン!」は、オリンピック・パラリンピックやスポーツの価値の学習だけでなく、多様な人々との交流や日本の伝統文化の学習など、様々な学習活動を通して、「自信と勇気」「多様性の理解」「主体的・積極的な社会参画」の3つのレガシーを目指しています。



1 オリンピック・パラリンピック教材を活用した学習

東京2020組織委員会は、オリンピック・パラリンピック教育に活用いただけるサポート教材を作成・認定し、ウェブサイトで配布しています。これらの教材に基づき、日本全国で、オリンピックの価値やパラリンピックの価値を学ぶ授業が行われています。

主なオリンピック・パラリンピック教材

- ◆ 国際オリンピック委員会公認「オリンピック価値教育の基礎(OVEP)」
本教材は、フェア・プレイや他者への敬意等のオリンピックの教育的価値の学習方法をお示しています。1コマ単位の授業プランもご提供しています。
- ◆ 国際パラリンピック委員会公認「I'mPOSSIBLE(アイム・ポッシブル)」
本教材は、パラリンピックの価値とパラスポーツについて、座学と実技を交えて学ぶことができる、教師用ハンドブック、児童・生徒用ワークシート、資料映像が入った授業セットです。
- ◆ 「オリンピック・パラリンピック学習読本」
本教材は、東京都教育委員会が作成した教材をベースとし、オリンピック・パラリンピックを通して、スポーツだけでなく、日本の伝統や国際マナー等も学べる内容となっています。

教材のダウンロードはこちら：
<https://education.tokyo2020.org/jp/teachers/texts/>



I'mPOSSIBLEを活用した授業(中学校)

2 オリンピック・パラリンピック競技の体験

体育の授業等を活用して新たな競技にチャレンジすることで、スポーツへの興味関心やチャレンジ精神を向上させることができます。東京2020組織委員会では、学校の授業以外でも子供たちに様々な競技を体験いただけるよう、競技体験イベントを開催しています。



シッティングバレーボール体験(小学校)

3

アスリートやスポーツ関係者等との交流

オリンピック・パラリンピアンを始めとしたアスリートとの交流により、努力や目標を持つことの大切さを学ぶことができるほか、競技の新たな魅力を発見することができます。また、スポーツ指導者等のアスリートを支える人々の存在を知ることが、キャリア教育の一助にもなります。



体操メダリストとの交流(小学校)

4

障がい者理解(交流・体験活動、アート鑑賞など)

様々な違いがあることを理解しつつ、共に生きていく力を身に付けるための活動です。小学生・中学生・高校生と特別支援学校/学級の児童・生徒との交流や、障がいのある方によるアート作品の鑑賞等を通して、多様性の理解を促進します。



交流教室(特別支援学校)

5

日本の伝統文化の学習

国際社会等で主体的に活躍できる人材となるために、伝統芸能の鑑賞や体験会等を通して、自国の伝統文化の魅力を学びます。



生け花教室(中等教育学校)

6

国際理解(国際交流活動など)

世界中からアスリートと観客が訪れる東京2020大会に向けて、国際理解を促進する学習が行われています。既に事前キャンプ地等ではアスリートや競技関係者と児童・生徒との交流活動も始まっています。



海外の方との交流(小学校)

7

地域活動等への参加

東京2020大会をきっかけに地域社会での活動に関心を持っていただくために、児童・生徒によるボランティア体験や地域の清掃活動等への参加が行われています。



地域の清掃活動(高等学校)

「ようい、ドン!」の目指す3つのレガシー

自信と勇気	多様性の理解	主体的・積極的な社会参画
失敗を恐れず自ら行動を起こす人材、将来に向かって自信と勇気を兼ね備えた人材を育ていく	障がいの有無、人種、言語等、様々な違いがあることを理解しつつ、共につながり、助け合い、支え合って生きていく力を身に付ける	東京2020大会を契機に、国際社会や地域社会の活動に関心を持って、主体的、積極的に社会に参画できる人材を育ていく